

CASBEE 新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)中央区米山4丁目施設 建築計画 新潟県新潟市中央区米山4丁目336-1の一部 外2筆 第二種中高層住居専用地域、防火地域 指定なし 病院, 2025年1月 予定 2,255.77 m ² 1,201.53 m ² 2,258.02 m ² 地上2F 木造 実施設計段階評価 2023年10月23日	
---	--	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{36.6}{47.0} = 0.7$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	スコア	値
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	2.8		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	2.5
			設備の更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.8		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.6
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.3		節水	LR2.1.1	4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	1.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	1.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	1.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

BPI _m =0.59。 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。

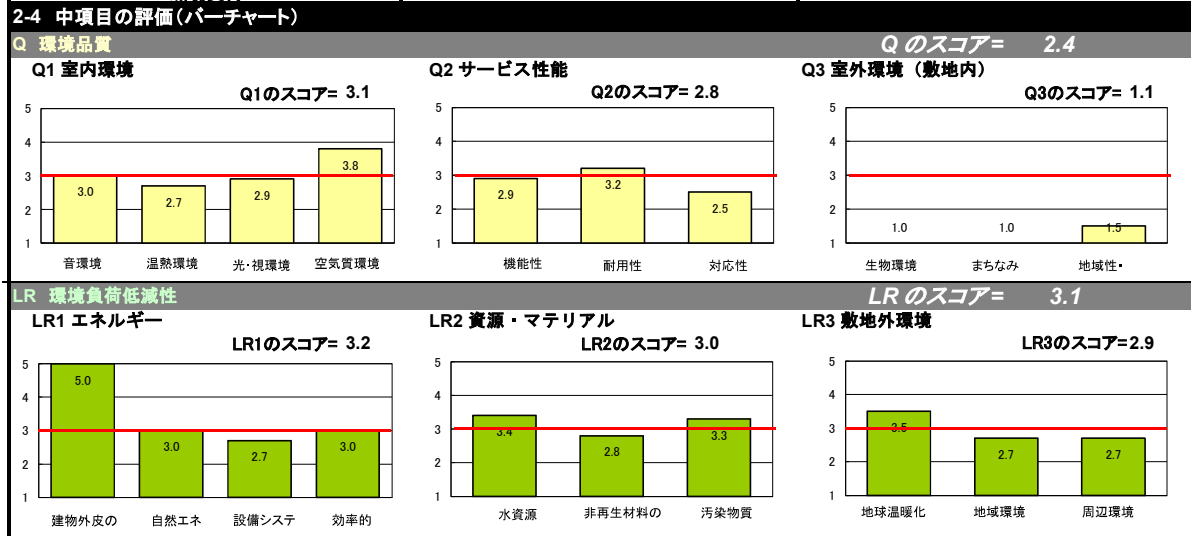
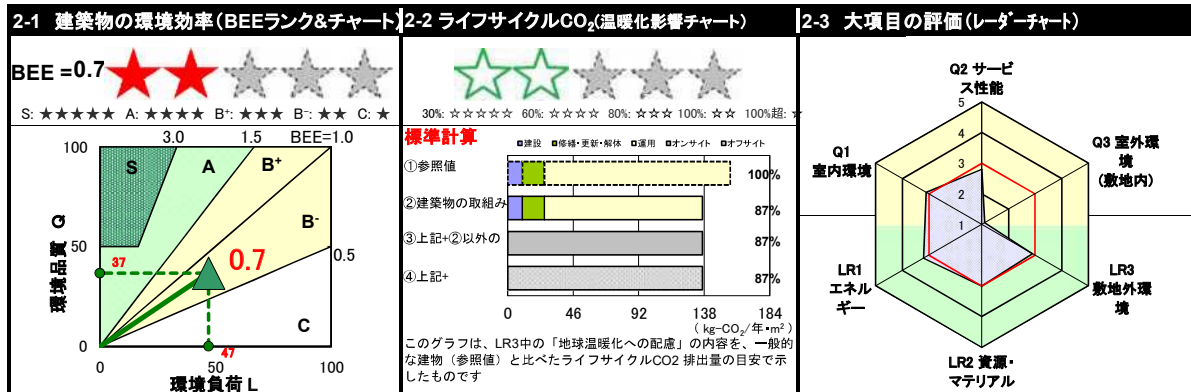
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築) 2016年版|使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)中央区米山4丁目施設 建築計画	階数	地上2F
建設地	新潟県新潟市中央区米山4丁目336-1の一部 外2筆	構造	木造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	68人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2023年10月23日
敷地面積	2,256㎡	作成者	小嶋 悟
建築面積	1,202㎡	確認日	2023年11月1日
延床面積	2,258㎡	確認者	木山 光



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	特になし	
Q1 室内環境 昼光率(建物全体・共用部分): 2.64 昼光率(住居・宿泊部分): 3.34 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上。 ビル全体の禁煙が確認されている。	Q2 サービス性能 個室10㎡以上。 外壁仕上げ材:サイディング->40年。 住居・宿泊部の天井高2.5m以上。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー BPI=0.59。	LR2 資源・マテリアル 節水マなどに加えて、節水型機器も採用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率87%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される